

第1947号

2020年5月17日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

### 新型コロナ対策 国の臨時交付金

## 「現場をわかっていない」国に怒り！

総額1兆円規模の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の配分額が示されましたが、根室市への交付額は、いわゆるリーマンショック時の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」と比べて約半分にすぎないことがわかりました。

今回の臨時交付金の根室市への配分は、約1億5千3百万円。2009年の交付金が約3億1千万円だったため、半分以下となります。臨時交付金の総額1兆円は11年前と同額であり、市としても3億円程度の配分と見込み、市独自のさまざまな対策の財源としていましたが、新たな財源対策が求められます。

先進国)に不況が広まったのに対して、新型コロナウイルスは、すべての人に感染の可能性があることから、現場での感染拡大防止と市民の生業を守る対策の重要性は、11年前とは比較にならないと考えます。それだけに、国は、市町村に対してより手厚い財政支援を行うべきです。

今回の臨時交付金は、11年前と比べて、都道府県により手厚いものとなっています。確かに、「緊急事態宣言」により知事の権限が増し、都道府県の役割は重要と待っています。が、実際に住民の命と健康、地域経済を守るのは市町村です。政府は、ただちに新たな補正予算を組み、第2弾となる臨時交付金とともに、検査体制の拡充、休業補償の充実を求めるものです。

先駆的な根室市の取り組み  
根室市はこれまで、市独自の取り組みとして、飲食業・宿泊業に対する家賃等の助成、上下水道料金の減免を行ってきたほか、市内業者の支援をもとに市民への消毒液の無料配布なども行ってきました。

また、国の10万円の特別定額給付金に関して、一刻も早く市民のみなさんに届けるために努力しました。市職員の感染リスクを減らすために、旧西高校舎を活用した分散勤務も始めています。



「ねむろ9条の会」がアピール



原水爆禁止国民平和大行進出発式

さらに、中小・小規模事業者の事業継続支援の助成金、「ひとり親家庭」への生活支援金の給付、学校給食費(2か月分)の徴収免除などを計画しています。

新型コロナウイルスに関しては、もちろん、さまざまな手続き上の疑問、生活をしていくうえでの困りごとなどは、党議員団にお問い合わせください。

「ねむろ9条の会」(細川憲了代表)は5月3日「憲法記念日」に、街頭でのアピール行動を行いました。同会では例年、憲法記念日には、屋内で講演会や学習会を主催してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「3密」を避け、屋外でのアピール行動としました。

約20名が参加。安倍政権のもとでの改憲を許さず、憲法9条を守り抜くという力強く訴えました。

2020年原水爆禁止国民平和大行進根室コース出発式が10日、小雨降る中、約15名の参加で行われました。

出発式は例年、通し行進者を迎えてノサツプ岬で行われていましたが、新型コロナウイルスの状況を踏まえ、今年は通し行進者なしとなりました。

主催者の根労連中山議長が挨拶、来賓として日本共産党根室市委員会の橋本竜一委員長が連帯の挨拶を行いました。